

平成19年(2007年)12月3日

横須賀市議会議員様

企画調整部長

米兵が被疑者となっている傷害事件について(報告)

昨日、発生しました、米兵が被疑者となっている傷害事件について、その概要と本市の対応について報告します。

また、事件発生を受け「基地周辺地区安全対策協議会」を開催することといたしましたので、併せて報告いたします。

記

1 事件の概要と本市の対応について(別紙のとおり)

2 基地周辺地区安全対策協議会(第5回)

(1) 開催日時 平成19年12月7日(金)
午後2時より

(2) 開催場所 市役所本庁舎3階 特別会議室

事務担当：基地対策課
内線1376

01-01-30

米海軍からの謝罪について

平成19年12月2日発生した傷害被疑事件について、米海軍の幹部が市役所を訪れ、謝罪と今後の対応について説明がありました。

1、日時 平成19年12月3日 11時～

2、出席者

(1) 米海軍

米海軍横須賀基地司令官 ダニエル L ウィード 大佐
ブルーリッジ艦長 デイブ A ラウスマン 大佐

(2) 横須賀市

蒲谷市長、杉本副市長、上田副市長
廣川企画調整部長、越後市民安全担当部長、秋本基地対策課長

3、謝罪

ウィード大佐

このたびは大変な事件を引き起こしてしまい申し訳ございませんでした。

このようなことが起きないように、懸命に努めて参りましたが、十分でなかったこと反省いたします。教育とパトロールの見直し、強化に更に力を入れる所存です。

被害者のお二方には誠意を持って謝罪し、対応いたします。

ラウスマン大佐

市民の皆様にお詫びしたい。

横須賀の調和を乱さないよう、しっかりと指導に励みたい。

4、市長発言

非常に遺憾である。

今まで、司令官、艦長はじめ米海軍のみんなが犯罪撲滅に努力しているのは理解している。そのおかげで、最近街が静かになってきたとの評価を受けているところであったので、非常に残念である。

繰り返し教育・指導を続け、これまで以上の対策を取るようしてほしい。

5、米側の対策（ウィード大佐から説明）

(1) すべての軍人・軍属に対し、再度、教育・指導を行う。

(2) すでに本町地区でおこなっている米軍人同士での行動管理活動（Public Safety Community Watch Program）を強化、拡大する。

(3) アルコール規制を含め、新たな計画を早急に作成し、報告する。

別紙

平成19年12月2日の傷害被疑事件の経緯

(事件の概要)

平成19年12月2日 午前0時46分頃、被害者Aさん(50歳、女性)と被害者Bさん(50歳女性)が、横須賀市日の出町3丁目13番地先路上を帰宅中のところ、ブルーリッジ乗組員(30歳)が後ろから、Aさんの後頭部を殴り、さらにBさんに対しては、付近駐車場で顔面等を殴るなどの暴行を加えた。

被害者Aさんは、頭部打撲等で約2週間の加療、Bさんは、顔面、頭部打撲等で約2週間の加療。

- 1 平成19年12月2日 午前8:00
南関東防衛局業務課より、基地対策課に一報
- 2 平成19年12月2日 午前8:15以降
基地対策課において、神奈川県等関係機関と連絡をとり、事実関係について調査
- 3 平成19年12月2日 午前10:00
基地対策課より、事件について市長に報告
- 4 平成19年12月2日、午後5:30頃
在日米海軍司令官ケリー少将から市長あて、事件の概要及び遺憾の意が伝えられた。
- 5 平成19年12月3日午前11時
横須賀基地司令官ウィード大佐、ブルーリッジ艦長ラウスマン大佐が本市を訪れ、謝罪、今後の対策について報告があった。